

《スオミの歌》という合唱曲がある。

「歌い奏ずる琴の音 聴けよや！ 奇しき歌」という歌詞で始まり、わが国でも古くから親しまれてきた。ところで、「スオミ」がフィンランドのオリジナル名であることをどのくらいの人知っているだろう。ましてや「琴」は指で弦をはじく民族楽器「カンテレ」を指していると知る人はごくわずかだろう。

フィンランドは知る人ぞ知る合唱大国である。少年少女合唱では、歌と器楽演奏の両方に秀で、世界を巡って各地で絶賛された「タピオラ合唱団」。男声合唱では、重厚かつ輝かしい響きを誇る「ヘルシンキ大学男声合唱団」、混声合唱では、透明感あふれる響きで聴く人を魅了する「カンドミノ合唱団」など、枚挙にいとまがない。

フィンランド音楽の魅力の源泉は、それぞれの地方で歌い継がれてきた民謡にある。長い間ロシアやスウェーデンの支配下に置かれ、豊かとはいえない国土を耕し、冬の厳しい寒さに耐えながら、祖先からの歌を歌い継いできた。その歴史遺産を芸術音楽に昇華させたのが、ヤーネフェルト、シベリウス、メリカント、クーラなどの作曲家たちである。かれらの作品をとおして世界の人々はフィンランドの芸術性の高さを知り、フィンランド人もまた自らが誇り高い国民であることを自覚したのである。

2019 年はフィンランドとわが国とが修好条約を結んで 100 年目にあたる。記念すべきこの年に男声合唱団 ESMILA を聴けることを、この上なく幸せに思う。

(指揮者 中村隆夫)



ESMILA

ESPOON MIESLAULAJAT

男声合唱団 [ESMILA～エスミラ～]

首都ヘルシンキ市に隣接するエスポー市を本拠地とする 1979 年創立の男声合唱団で、今年創立 40 周年を迎えた。フィンランドはバルト三国とともに合唱レベルの高い国で、ESMILA もその一つである。ほぼ 2 年ごとに海外へ演奏旅行を行っているが、2009 年には韓国を訪問して同国で最も歴史が古く、最高レベルにあるとされる「韓国男声合唱団」とジョイントコンサートを行った。またこれまでに 2011 年コーンウォール（英国）、2013 年マルタ共和国、2015 年リーヴァ・デル・ガルダ（イタリア）で開催された国際合唱コンクールに参加し、それぞれ第 3 位、第 2 位、第 1 位を獲得している。

日本＝フィンランド修交 100 年にあたる 2019 年を前に、ESMILA は文化使節として日本公演を企画し、1976 年創立以来、フィンランドと長年にわたって活発な交流を進めてきた北海道フィンランド協会に公演の主催協力を要請してきた。当協会ではそれに応え、在札幌フィンランド名誉領事館（横山 清 名誉領事）と共催し、駐日フィンランド大使館、北海道、札幌市などの後援を受けて、札幌コンサートホール（大ホール）と函館芸術ホールでの 2 公演を決定した。

なお北海道フィンランド協会では、この公演を北海道や札幌市の合唱愛好家、とりわけ若い世代の合唱愛好家を視野に入れて安価な入場料を設定し、多くの人が北欧の合唱に触れ得ることをもって両国の修交 100 年を記念することを強く願っている。

■ ヘルゲ・クルヴィッツ (Helge Körvits、指揮者)

1993 年、エストニア音楽・舞台芸術学院卒業。引き続きシベリウス音楽院でマッティ・ヒュエッキ教授のもとで合唱およびオーケストラ指揮を修める。1998 年、合唱指揮のディプロマ取得。以来、Savolaisen Osakunnan Laulajat 合唱団 (1992-1998) を皮切りに数々の合唱団の指揮者を務め、現在も複数の合唱団の指揮者を務めている。

■ ヴィッレ・ウルポネン (Ville Urponen、オルガニスト)

現代フィンランドを代表するオルガニストの一人で、その活動は世界に及んでおり日本へも演奏旅行を行っている。“American Organist” 誌 2016 年 1 月号には「ウルポネンは極上の芸術性と華麗なテクニックを備えており、西側ヨーロッパおよびアメリカの最高のオルガニストの一人に数えられる」と評されている。

(北海道フィンランド協会)

ロビー演奏のお知らせ



開演前の 18:30 から大ホール 1 階ホワイエで、カンテレ（フィンランド民族楽器）と声楽アンサンブルによる演奏を行います（約 10 分）。出演は、カンテレあんさんぶる“みゅう”の皆さんと ESMILA の選抜メンバー。開演前のひととき、「森と湖の国」フィンランドの伝統楽器の神秘的な澄んだ音色をお楽しみください。

<チケットについて>

1. 座席の種類は、S、A、B 席があり、全て指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。
 2. 公演中止の場合を除き、ご購入頂いたチケットのキャンセル、変更は出来ません。
 3. 未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、就学児童のご入場には 1 人 1 枚チケットが必要です。
- * 場内での写真撮影や録音、携帯電話の使用などはご遠慮ください。